

会議記録

年月日	令和3年7月16日（金） 14:00 から 15:25	担当課	市民と共に考える課
会議名	令和3年度第1回 市民協働のまちづくり推進委員会	場所	常総市役所 市民ホール
<p>《出席者》瀬高委員（新）、原田委員（新）、古矢委員、中莖委員（新）、神達委員（新）、木村委員、松下委員（新）、寺田委員、中山委員（新）、岩見委員、土河委員、杉田委員、横島委員（新） 計13名</p> <p>《欠席者》中島委員、羽富委員 計2名</p> <p>《事務局》神達市長、坂野課長、下田尾課長補佐、横島地域組織支援係長、上野市民協働係長</p>			
<p>【内容】</p> <p>1. 開 会（14時00分）</p> <p>2. 市長あいさつ</p> <p>3. 委嘱状の交付</p> <p>4. 委員自己紹介</p> <p>5. 臨時議長の選出について 会長が互選させるまでの間、神達市長が臨時議長として進行</p> <p>6. 会長及び副会長について <u>会長に岩見昌光委員（3期目）、副会長に土河隆委員（2期目）に決定</u></p> <p>7. 諮問 常総市地域コミュニティ基本指針（案）の策定について諮問書を神達市長から委員会へ提出</p> <p>8. 議 事 (1) 地域コミュニティ基本指針（案）の策定について 横島地域組織支援係長：パワーポイントにより説明</p> <p>【主な意見】</p> <p>(中山委員) 常総だけではなく、日本の問題でもある。問題が一つ一つ大きく多いので、常総市のやらなくてはいけない部分を絞らないと厳しいのではないかと。私も、まちづくりをやって体感したことは、地域の活動なども把握できていないこともあり、防災もそうですが、コミュニティの連携が取れていない。一番大事なのは、常総市がやっているLINEとか登録してもらおうとか。登録だけでなくその後、どうやってコミュニケーションを取っていくのか。</p> <p>(事務局) ありがとうございます。実際の課題はすごく大きいもので、地域に落としていくと地域によってバラバラだと思うので、今回は大枠の地域コミュニティの説明になる。実際に地域に入っていく場合には、地域の課題を洗い出して、その地域の話を重ねて地域にある課題</p>			

と解決策。それに対して、行政としてはどのような支援が必要なのかなど時間はかかると思うが、検討しつつ対応していきたい。

(土河委員)

北九州市の生まれ育ちで、防災に関しては北九州市の社会福祉協議会から依頼を受け市民の方へお話をしたことがある。北九州市は約94万人都市と言われるが、それぞれ136か所の市民センターがある。一つの市民センターに3,000人から5,000人の市民が関わっている。行事があれば福岡と茨城を行ったり来たりするのだが、その際に、社会福祉協議会から物語を書いてくださいと言われ書いたものがある。配らせてください。北九州市は、公民館が全国で一番進んでいる都市であり、若い方が様々な方々と一緒に市民活動をしている。活性化させるためには、自分たちのふるさとだという想いだと思う。その想いを共有する形で出来ればと。また、行政の方にも支援いただければと思っている。

(事務局)

ありがとうございます。

(杉田委員)

基本指針策定の趣旨と目的のところ、目的をどのあたりまでアンケート前に提示するのか。最終的な目標まで提示するのか。

(事務局)

こちらに関しては、基本指針なので全体的な大きな意味での目的であり、地区ごとの細かいものでなく、方向性や考え方を提示する。

(杉田委員)

地区ごとの細かいものではなく、市全体のものか。

(事務局)

あくまでも考え方みたいなもの。

(木村委員)

話を聞いていてすごくいいなと思う。ただ、ここに行くまでの問題といたしますか、8ページにあるイメージは分かりやすい。私の地区も地域が個だとすごく感じます。障がい者施設やPTA、子供会などもそうですが、横の繋がりが出来ていない。また、水海道と石下の繋がりが出来ていないと感じてしまう。私は水海道の障がい者施設に23年間勤めていた。水海道には障がい者施設があるのに、石下には障がい者施設がないため、石下に施設を造り今は6年目となる。福祉などのいろいろな情報に関して、石下は水海道で働いていた時と比べ情報が少ないと感じた。特別支援学校の結城支援学校と伊奈支援学校でも、縦の繋がりで横の繋がりが無い状況にある。資料のとおり個のところを連にすることは、私たちが考えを少しずつ変えていくことがコミュニティに繋がるのではないかと思う。先ほどの説明でイメージは分かったのだが、ただ誰もが抱えている問題をどうするのか。例えば、朝の通学時の「おはよう」など声掛けを通した横の繋がりを作っていき、それがコミュニティに繋がるのではないかと思う。

(事務局)

ありがとうございます。その通りだと思います。

(2) 市民アンケート(案)について

横島地域組織支援係長：資料により説明

【主な意見】

(杉田委員)

アンケートの表題はこのまま送られるのか。

(事務局)

まだ案の段階ですので表題は確定していない。

(杉田委員)

漠然としているので、もう少し分かりやすい表題に変えた方が何のためのアンケートか分かるかなと思う。

(事務局)

補足といたしまして、アンケートはこれだけですが、アンケートを依頼する鑑文は同封し、趣旨の説明は記載させていただく。

9. その他

上野市民協働係長：委員報酬について、次回開催日について説明

10. 閉会(15時25分)

以上